

# CASBEE<sup>®</sup> 広島

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版

使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)フォルクスワーゲン広島平和	階数	地上4F
建設地	広島県広島市西区西観音町2-16	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	- 人
気候区分		年間使用時間	- 時間/年
建物用途	物販店、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年6月 予定	評価の実施日	2015年5月15日
敷地面積	1,060 m <sup>2</sup>	作成者	山本育実
建築面積	922 m <sup>2</sup>	確認日	2015年5月15日
延床面積	3,452 m <sup>2</sup>	確認者	山崎正仁

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 0.9</b> ★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b> <b>Q のスコア = 2.8</b></p>		
<p><b>Q1 室内環境</b> <b>Q1のスコア = 2.8</b></p>	<p><b>Q2 サービス性能</b> <b>Q2のスコア = 3.0</b></p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b> <b>Q3のスコア = 2.8</b></p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b> <b>LR のスコア = 3.1</b></p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b> <b>LR1のスコア = 3.2</b></p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b> <b>LR2のスコア = 2.8</b></p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b> <b>LR3のスコア = 3.2</b></p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = <b>2.8</b></p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進 <b>スコア = 3.1</b></p> <p><b>設計の計画的特段に配慮した事項</b> 建物外皮に渡って断熱材を使用し、可能な限りCO<sub>2</sub>の排出を低減する。</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進 <b>スコア = 1.8</b></p> <p><b>設計の計画的特段に配慮した事項</b> 広島市緑化推進制度の緑化率を確保。駐車場附置義務台数以上を確保し、路上駐車を確保した。</p>	<p>「長寿命化対策」の推進 <b>スコア = 3.3</b></p> <p><b>設計の計画的特段に配慮した事項</b> 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とした。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される